

革新的環境技術 シンポジウム 2016

～エネルギー・環境技術のイノベーションによるゼロエミッション社会の構築～

2016年12月7日(水) 13:00～17:30(受付開始 12:30)

伊藤謝恩ホール(東京大学) **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

昨年の COP21 にて採択された「パリ協定」は、世界の GHG 排出量の 55%以上を占める 55 カ国以上が批准するという要件を満たし、11 月 4 日に発効することとなりました。11 月 7 日から始まる COP22 では、併せて第 1 回パリ協定締約国会議 (CMA1) が開催され、協定の具体的な実施ルールについて話し合われることになっています。

パリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃未満に抑えるとともに 1.5℃に抑えるよう努力すること、今世紀後半に GHG 実質排出量ゼロを目指すことが目標として掲げられており、これらの実現のためには革新的な技術の導入、普及を図って行く必要があります。

当機構は設立以来、地球温暖化対策に資する革新的なエネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてきました。本年 4 月には、二酸化炭素地中貯留技術研究組合、無機膜研究センターを設立し、技術の実用化に向けた取り組みにも力を入れています。本シンポジウムでは、最近の地球温暖化対策を巡る内外の動向を踏まえながら、当機構の最新の研究成果についてご報告します。

PROGRAM

- 12:30 ~ 受付
- 12:30 ~ 13:00 ポスターセッション
- 13:00 ~ 13:05 開会挨拶 研究所長 山地 憲治
- 13:05 ~ 13:30 招待講演 **最近の地球温暖化対策を巡る国際動向(予定)**
経済産業省産業技術環境局審議官 高科 淳
- 13:30 ~ 13:55 基調講演 **CO₂ゼロエミッションへ向けて**
理事長 茅 陽一
- 13:55 ~ 14:30 講演 1 **複数の社会経済シナリオの下でのパリ協定長期目標の評価**
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- 14:30 ~ 14:50 講演 2 **無機膜研究センターが指すもの**
無機膜研究センター長 中尾 真一
- 14:50 ~ 15:20 コーヒーブレイク・ポスターセッション
- 15:20 ~ 15:55 講演 3 **バイオリファイナリー社会の実現を目指したバイオ燃料・グリーン化学品生産**
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
- 15:55 ~ 16:15 講演 4 **CCS の現状と今後の導入に向けた課題**
理事・企画調査グループリーダー 都筑 秀明
- 16:15 ~ 16:50 講演 5 **CO₂分離回収技術と RITE の開発状況について**
化学研究グループリーダー 中尾 真一
- 16:50 ~ 17:25 講演 6 **CO₂大規模地中貯留の安全管理技術開発
—実用化を目指す技術研究組合の取り組み—**
CO₂貯留研究グループ主席研究員 薛 自求
- 17:25 ~ 17:30 閉会挨拶 専務理事 本庄 孝志

ACCESS

東京大学 本郷キャンパス

伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール 地下2F

- 東京メトロ丸の内線「本郷三丁目駅」より徒歩8分
- 都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」より徒歩6分

REGISTRATION

RITE ウェブサイト

<http://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。



公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 <http://www.rite.or.jp>

〒619-0292 京都府木津川市木津川台 9-2 TEL : 0774-75-2301 FAX: 0774-75-2314 E-mail: kaku2016@rite.or.jp